

CUC市民活動 サポートプログラム



Brush up Program
for professional

文部科学大臣
認定
職業実践力育成
プログラム

地域のために
役立ちたい!



NPO活動を継続させるには?



資金調達の方法は?



仲間が
欲しい!



専門家からスキルを学びたい!



i
n
d
e
x

プログラムの概要 ①

プログラムの特長 ②

卒業生の声 ③

講義スケジュール・内容 ⑦

募集要項 ⑮

大学からのメッセージ ⑮

CUC
Chiba University of Commerce

千葉商科大学

CUC市民活動サポートプログラムの概要



「CUC市民活動サポートプログラム」は、企業、団体、地域で活躍するために役立つ知識と技術を総合的に学べるプログラムです。

コミュニティビジネス（行政だけでは解決しない、既存の企業では供給されていないサービスを提供する事業など）や地域密着型ビジネス、市民活動団体やNPOなど各種組織の効率化や発展に必要な経営・マーケティング・組織マネジメント等の知識とスキルを網羅的に学べます。

また、本プログラムは、主に社会人を対象とする学びなおしのための実践的・専門的な課程として、文部科学大臣より「職業実践力育成プログラム（BP）」の認定を受けています。修了者には学校教育法に基づき、所定の「履修証明書」が交付されます。

修了要件として、2023年度に開講する必修7科目合計35回、（合計61時間25分）を受講し、各講義について一定以上の成績評価を得た場合、「履修証明書」を発行し、「千葉商科大学認定 市民活動エンハンサー」の称号を授与します。

履修証明とは

2007年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。この制度は、社会人の方などを対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書（Certificate）を交付するものです。この履修証明書は、学びの内容を証明するもので、履歴書等にも記載できます。

職業実践力育成プログラム（BP）とは

社会人を対象とする実践的・専門的な課程で、①対象とする職業の種類及び修得可能な能力を具体的かつ明確に設定し、②関連分野の企業等の意見を取り入れて、対象とする職業に必要な実務的知識、技術及び技能を修得できるカリキュラムで、③主に実務家教員による講義やグループ討論、フィールドワーク等の科目で構成されており、④土曜開講など社会人が受講しやすい環境を整え、⑤修了者には学長名で履修証明書が交付される、などの条件を満たしたプログラムを文部科学大臣が認定するものです。

＼ こんな人に向いているプログラムです！ ／



地域に
根差した企業に
お勤めの方



まちづくりや
子育てサポートなど
地域と関わる団体で
活動されている方



これから地域活動を
始めたい方



市民と市民、市民と行政、
行政と企業を繋ぎ
パイプ役を担う
中間支援をされている方

CUC市民活動サポートプログラムの 特長



「CUC市民活動サポートプログラム」ならではの特長をご紹介します。

市民活動について 体系的に学べる!

単発のプログラム、あるいはテーマを絞った短期間の講座とは違い、市民活動について体系的に学べます。各分野の専門家である大学教員が、理論から実践まで、幅広い知識を伝授します。市民活動に関わる中で組織運営や経営面等における課題を俯瞰し、認識することで解決の第一歩となります。



横のつながりが できる!

受講生同士のつながりはもちろん、イベント等を通じて卒業生とも交流することができます。このプログラムを通じて知り合った方々で新たな取り組み、活動を始めることも可能です。また、大学・大学教員とのパイプができることで、授業時間外、卒業後も活動に関するお悩みを相談することができます。



就職・転職活動に 役立つ!

本プログラムは、文部科学省より「職業実践力育成プログラム (BP)」の認定を受けています。修了すると履修証明書が交付されますので、就職・転職活動の際に実践的で且つ専門的な知識を身に付けたことの証明として、履歴書に記載するなどアピールポイントになります。



受講生特典

特別助成金に応募できる!

本学では、「地域志向活動助成金制度」を設けており、地域に関連する研究や社会に役立つ活動をする方々を応援しています。応募して採択されると、最大20万円の助成金と地域活動アドバイザーとして教員、学生のサポートを受けることができます。

本プログラム受講生は、通常の「地域志向活動助成金制度」枠に先駆けて、特別枠にご応募いただくことが可能です。残念ながら採択されなかった場合も、再度、通常枠にご応募いただくことが可能です。

※受講生特典の特別助成金の募集時期は、2023年11月を予定しています。

※「地域志向活動助成金制度」の内容や実施時期は変更になる場合があります。

※特別枠にご応募いただく際には、それまでに受講された講義で一定の成績を修める等の応募条件があります。

卒業生の声

地域に密着した活動をされる方々の学び直しの場として開かれた「CUC市民活動サポートプログラム」。受講のきっかけ、現在の活動の中で生かされている学びなど、卒業生に語っていただきました。



卒業生座談会 ①

活動するなかでの「気づき」が 受講のきっかけに

榎戸：「CUC市民活動サポートプログラム」の受講を終え、みなさん現在はどうな活動に取り組んでおられますか？

伊藤：私は、障がい者支援、老人ホーム慰問、鎌ヶ谷市の清掃美化活動に猫の保護活動と、いろいろやっています。地域づくりコーデイネーターでもありますので、NPOや地域活動を運営する方たちへのサポートも、継続して行っています。

小出：写真を囲んで思い出を語る会、自分史制作など、お年寄りの「生きがいづくり」をお手伝いしています。最近ではコロナでお休みが続きましたが、またタイミングを見て再開したいところです。

甲斐：私も地域づくりコーデイネーターとして、市民の視点からNPOなどをサポートする、中間支援団体を運営しています。ほかに、子育て中のママたちが、一息つける居場所づくりなどもやっています。

榎戸：みなさんがサポートプログラムを受講したきっかけを、聞かせてください。

甲斐：そうですね、私はいろんな講座やイベントを企画するとき、適切な集客ができるようになりたくて、エリアマーケティングに関心を持ちました。また、場づくりや、会議や活動の効果的な進行ができるように、ファシリテーションについても、きちんと学びたかったです。それでこのプログラ

ムを受けようと思いました。

伊藤：私の受講目的は、誰もが市民活動に参加しやすい環境のつくり方を、勉強することでした。仕事が忙しくて地域活動に参加できない、一人では参加しづらいといった声をよく聞いていましたので、短時間でも参加できる方法はないかと考えていたのです。若者とシニア、あるいは団体同士の交流の場づくり、そして、ボランティアをやってみたいのに、適切な団体や参加方法がわからず、眠っている人材の発掘方法についても、どうすればいいのを知りたいと思いました。

小出：私の場合、たまたま地域の市民活動に参加する機会がありまして、真摯に地域の課題に取り組む方たちの姿に、感銘を受けたのです。まだ現役なので日々の仕事は抱えています、事務、企画、渉外といっ



小出 卓也さん

行政書士としての仕事のかたわら、地域の高齢者が生き生きと生きるための活動に取り組む。

た経歴を生かし、事務局的な側面からなら、自分も地域活動に貢献できるのではと思いましたが。それで事務局としてチームをまと

めたり、活動の方向性を検討したりするスキルを身につけるため、このプログラムを受講することにしました。

マップピングや資金運用など 現場で役立つ講座での学び

榎戸…それぞれの思いをもってプログラムに参加されたわけですね。実際に受講した感想はどうですか。具体的にどんなことが役に立ちましたか？

小出…地図の活用方法は、とても役に立ちました。お年寄りに自分史を書いてもらう際、古地図と新しい地図を重ねて見る手法を紹介したところ、地域の変遷がよくわかると好評でした。経産省のデータをマップピングするアプリケーションも、授業で初めて知りました。これは今、事業計画を立てるときなど、私自身がたいへん便利に使っています。

伊藤…私がすごく勉強になったと思うのは、



甲斐 孝子さん
一般社団法人・鎌ヶ谷マネジメントラボ代表。地域づくりコーディネーター。

会計の授業です。NPOの活動って、どう

しても「思い」が先行しがちなんです。そのせいで、いつまでたっても事業展開がで

きず、尻すぼみになっていく団体が少なくありません。お金についてしっかり理解することは、活動を継続していくうえで本当に重要だと、実際に学んでみて痛感しまし

た。

甲斐…私も資金調達やお金の運用について、このプログラムで学べてよかったです。会費、参加費、ボランティアの方への謝金など、どうするかなど、非営利活動だといっても、現実にはお金に関して迷ったり、困ったりすることが多いのです。同じ悩みを抱える多くの団体にも、ぜひ正しい知識を身につけてもらいたいです。

榎戸…一緒に勉強したことが、今の活動に役立っていると聞いて、とても嬉しく思います。これから受講を考えている方の参考までに、みなさんが考えるこのプログラムのおすすめポイントを、ひとことずつ教えていただけますか？



伊藤 直子さん
NPO法人鎌ヶ谷Jumpupの会・相談支援事業所ジャンプアップ代表。地域づくりコーディネーター。

とです。

伊藤…横のつながりがたくさんできること。このプログラムには、いろんな活動に取り組んでいる人たちが集まるからです。

小出…人的ネットワークという意味では、先生たちとのつながりができるのも、大きいですよ。いざとなれば相談できる人がいる。そう思えるだけでも心強いので。

榎戸…図書館が使い放題なんていうのも、大学で学ぶメリットでは？ 実は大学にとっても、キャンパスに地域のみなさんの姿があるのは、とてもよい刺激です。

甲斐…千葉商科大学のキャンパスって、私たちのような大人にも居心地がいいんですよ。今日も学生食堂に寄って来ました。が、周りが大学生ばかりでも、まったく違和感なくお茶が楽しめました。

榎戸…それはよかったです(笑)。では最後に、みなさんの今後の抱負や、市民活動に寄せ

る思いなどをうかがいましょう。



ファシリテーター
政策情報学部 榎戸 敬介 教授
地域連携推進センター長

んなにささいなことでも、気軽に相談できる窓口が必要です。リカレント教育のように、NPOの運営について継続的に学ぶ、あるいは何度も学び直せる場合、あれば助かる人が多いはず。CUC市民活動サポートプログラムを受講して、千葉商科大学がそんな存在であると思っています。

甲斐…人間の幸福度というのは、コミュニティに属することで増すといえます。そして今回のコロナ禍では、多くの人が、孤立や孤独、人とのつながりの大切さを実感しました。だからこそ、誰もが居場所を見つけれられるコミュニティが、身の周りにたくさんあってほしいし、そういうコミュニティづくりができる人を、もっと増やしたいと思っています。

伊藤…市民活動って、身の回りの小さな課題を解決する活動なんですよね。それがSDGsのような大きなゴールにも、つながっていくわけですから、私も地域で持続的に活動する団体が増えるよう、努めたいと思います。

(2021年11月座談会実施)

卒業生座談会②



人、お金、時間が不足する 市民団体のあり方を模索

朽木：お二人はどのようなきっかけで「CUC市民活動サポートプログラム」を受講されたのでしょうか。

佐藤：私は以前、市川市がまちづくりのリーダーを養成するために開講した「いちかわTMO講座」に参加したのですが、そこで朽木先生がLEGO®SERIOUS PLAY®メソッドを使ったセッションをされていたことに興味を持ったのがきっかけでした。千葉商科大学は自宅からも近いし、地域活動をしている方たちとつながりたいという思いもあって。結果、市川市を越えて、広く市民活動に関心のある人たちと出会えたことがとてもよかったです。

朽木：これまで県内からは白井市、印西市、鎌ヶ谷市、柏市などからも受講生が来られますね。

石川：私も佐藤さんと同じで、「いちかわTMO講座」を受講したときに「CUC市民活動サポートプログラム」の存在を知りました。子育て中だったので、ボリュームの大きな講座に通えるか不安でしたが、当時やっていた市民活動にそのまま生かせるような内容でしたので、思い切って受講を決めました。

朽木：石川さんは当時、市民活動のあり方に悩まれていた記憶がありますか。

石川：それなりに大きな規模で長年活動し

てきたNPOでも、近年の社会の変化に適応できず、人・お金・時間の面で無理が出てきているところが少なくありません。私は19年ほど、親子自らリアルな文化体験活動を企画運営して楽しむNPOに所属していたのですが、かつてのメンバーはほとんど専業主婦やボランティアでした。昨今では共働きの家庭も増え、メンバーもなかなか活動にお金も時間もかけられなくなり会員も減っていき、事業規模をそのままで行っていくことが困難になっていました。

朽木：このプログラムはまさにそういった運営上の悩みを持つ市民団体のサポートを目的としています。実際に受講してみたいかがでしたか。

佐藤：マーケティングや管理会計、法律と



佐藤 鼓子さん

編集記者の傍ら、2020年に「助産宿」を立ち上げ、妊産婦が産み育てやすい環境づくりの推進と助産師と歩む妊娠出産の理解浸透を図っている。

いった経営に必要なことを基礎から教えてくださるので、これから市民活動をしてみたいといった初心者の方でもついていけるし、活動の下の地になる内容だと思えます。私のようにすでに市民活動に深くかかわっている方にとっては、自分たちの活動に根づいた学びが役に立ちますので、多様なバックグラウンドを持つ受講生とのディスカッションや視野を広げるワークショップがとても勉強になりました。

石川：クラスが小規模なので、先生やほかの受講生と気楽に意見交換したり質問したりできるのもよかったです。受講後に、親族の土地を活用し貸し農園を始めたいと考えた時、都市農園専門の先生に相談に乗ってもらえたこともありました。

佐藤：大きなNPO団体はビジネスとしての基盤がありますが、小規模の市民団体の

大きな収穫は教授や受講生の人的ネットワーク

朽木：プログラムを受講して、ご自身には何か影響がありましたか。

石川：キャリアアジェンジをしました。私はこれまで「CUC市民活動サポートプログラム」をはじめさまざまな講座や書籍などで学んできましたが、以前のNPOにそれを持ち帰って、いざ事業にテコ入れしようとする、長年活動しているメンバーが大勢いるものですから、今までと違った新

多くは財政難の問題を抱えています。ですから、地域の中でお金を回して、地域全体が豊かになる仕組みをつくりたいと思いが、模索しているところです。「CUC市民活動サポートプログラム」で、アカデミックな面から経営や管理会計などを学んだので、次は市民団体が具体的にどのよう

に収益を上げているのか、リアルなケーススタディを学んでみたいですね。

朽木：貴重なご意見ありがとうございます。お二人はプログラムの卒業生ですし、何かあれば今からでも教員に相談してください。大丈夫ですよ。その分野に強い人を紹介することもできますから。こうしたつながりこそ、多様な人が学び、行き交う大学の強みですし、今後受講される方も教員をうまくつかまえていただけたらと思います。

しい方向性にチェンジすることはなかなか難しく。そこで、せっかく学んだことを実践するには、自分の活動場所を変えるほうが早いと思いきり、今は新しい団体の立ち上げも模索しながら、松戸市の市民団

体向けの中間支援組織で働いています。朽木：市民活動をする側から、市民活動を支援する側に回られたんですね。

石川：はい。自分の住む市川市と松戸市で



石川 紗樹さん

NPO法人市川子ども文化ステーションで19年間活動した後、松戸市で市民活動を支援する「まつど市民活動サポートセンター」に勤務。

は、市民活動や支援の状況に共通点も相違点もあるので、お互いのよいところを伝え合い、高め合える場があるといいなと思います。いろいろな地域から受講生が集まる「CUC市民活動サポートプログラム」はその意味でも貴重な場ではないでしょうか。佐藤：その通りだと思います。私は受講中に鎌ヶ谷市でNPOの中間支援をされている方々とお会いできて、大きな刺激を受けました。石川さんも私も子育てから派生する親子関連のつながりが多く、自分が独立した1人の人間として、地域活動に関心の高め方々となつながら、学びを得られるのは貴重な時間ですよ。

石川：そうですね。プログラム受講時は、久しぶりに学生気分に戻ることができた時間が、単純に嬉しかったのも覚えていますが、(笑)。

朽木：受講生の同窓会もありますよ。今はコロナ禍で対面での開催が難しいですが、



ファシリテーター
政策情報学部 朽木 量教授

状況が好転すれば卒業生同士が直接会える機会を定期的につくる予定ですので、さらに広いネットワークを築いていただけたらと思います。

佐藤：学生と共に学び、若い世代の意見を反映した活動にも挑戦してみたいですね。

朽木：最近の学生を見ると社会貢献を考える若い人が増えていと感じます。さまざまな世代の方に「地域のために何ができるか」をキーワードに集まってもらえたらと思います。

佐藤：「社会のために何かしたいけれど、何をしたらいいのかわからない」という人はとにかく受講してみると興味の持てる地域活動につながるきっかけができるでしょう。

石川：親しみやすい千葉商科大学の先生とも知り合いになれますし。

朽木：このプログラムが、市民と大学が一緒に社会活動が始めるきっかけとなれたらうれしいですね。

(2021年11月座談会実施)

講義スケジュール・内容

開講期間は2023年5月～2024年2月の土曜日を予定しています。(途中、不開講期間があります)

※日程、時間、講師は変更になる場合があります。

※「総合演習」を除く講義については、1科目からの部分履修が可能です。

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、オンライン授業に変更する場合があります。

※講師のプロフィール情報は2022年11月時点のものです。

	科目	講師	時間	日程
総合演習	1 総合演習A(ゼミ)	朽木 量	9:00～10:45 10:55～12:40	5/20
	総合演習B(ゼミ)	朽木 量	9:00～10:45 10:55～12:40	2/3(2024年)
1期	2 経営学とマーケティング	仁平 京子	9:00～10:45	5/27、6/3、6/10、6/17、6/24
	3 非営利組織論・NPO法	榎戸 敬介	10:55～12:40	
2期	4 クラウドソーシング活用演習	熊野 健志	9:00～10:45	8/26、9/2、9/9、9/16、9/23
	5 ファシリテーション演習	影山 貴大	10:55～12:40	
3期	6 地域分析実習	朽木 量	9:00～10:45 10:55～12:40	12/9、12/16、12/23
	7 組織マネジメントと管理会計	森 浩気	9:00～10:45 10:55～12:40	1/6、1/20、1/27(2024年) ※1/27は9:00～10:45のみ

1 総合演習A・B(105分×4回) ▶ 詳細は8ページ参照

本プログラム全体を通じて身に付けるコミュニティビジネスや地域に密着した活動を行う企業・団体の運営スキル、NPO・市民活動団体の運営や中間支援のスキルを実際に、ワークショップ演習で運用してみます。

2 経営学とマーケティング(105分×5回) ▶ 詳細は9ページ参照

非営利組織におけるマーケティング論や経営学の基本的な考え方を学びます。営利企業のマーケティングと非営利組織のマーケティングの両者の特徴を比較しながらさまざまな組織の抱える課題を検討します。

3 非営利組織論・NPO法(105分×5回) ▶ 詳細は10ページ参照

公共セクター、民間セクターと共に、第3のセクターとして必要不可欠になった非営利組織について、基礎に立ち返って理論と実践の両面から改めて考え直します。また、「NPO法」についても扱い、NPOだからこそできることは何かを考えます。

4 クラウドソーシング活用演習(105分×5回) ▶ 詳細は11ページ参照

ネットワークを通じて仕事を発注するクラウドソーシングの仕組みと、これからのネットワーク社会において主役になっていくテレマネージャの心得についてパソコンを使った演習形式で学びます。

5 ファシリテーション演習(105分×5回) ▶ 詳細は12ページ参照

アイスブレイクの方法から、会議におけるファシリテーションの設計・実践までを演習形式で実際に行いながら学びます。

6 地域分析実習(105分×6回) ▶ 詳細は13ページ参照

250m四方のメッシュごとの人口構成を踏まえた事業計画立案など地理情報システム(GIS)を運用した課題発見・解決型の学修と現地のフィールドワークを組み合わせ、地域分析の方法を具体的に学びます。

7 組織マネジメントと管理会計(105分×5回) ▶ 詳細は14ページ参照

管理会計とは、会計情報を経営上の意思決定や組織の業績評価に役立てることを目的とするものです。「NPO法人会計基準」の基礎から、管理会計の考え方をういた組織改善や組織マネジメントまでをディスカッション・ワークショップ形式で学びます。



担当講師

朽木 量 Kutsuki Ryo

千葉商科大学政策情報学部長。政策情報学部教授。専門は、歴史考古学・民俗学・地域文化政策。LEGO®SERIOUS PLAY® メソッドと教材活用トレーニング修了認定ファシリテーター。

① 総合演習A・B(ゼミ)

講義内容

本プログラム全体を通じて身に付けるコミュニティビジネスや地域に密着した活動を行う企業・団体の運営スキル、NPO・市民活動団体の運営や中間支援のスキルをワークショップ演習で実際に運用してみます。授業はすべて、LEGO®SERIOUS PLAY® メソッドと教材を活用したワークショップ形式で行われます。

講義計画

- 第1回 講座概要、講師・受講生自己紹介、各自の活動が抱える課題についての省察
- 第2回 LEGO®SERIOUS PLAY® メソッドと教材を用いた組織と自己の課題についての省察を行うワークショップ
- 第3回 LEGO®SERIOUS PLAY® メソッドと教材を用いた「つながり力」の可視化(ワークショップ形式の双方向型授業)
- 第4回 LEGO®SERIOUS PLAY® メソッドと教材を用いた講座全体の振り返り(ワークショップ形式の双方向型授業)

到達目標

コミュニティビジネスや地域に密着した活動を行う企業・団体の運営スキル、NPO・市民活動団体の運営や中間支援のスキルを活用できるようになることを目標とします。さらに、今後の活躍に向けて自律的にスキルと意識を高めることが出来るようになることを目標とします。

成績評価方法

授業への貢献度や講師が指示する課題等を総合的に判断して合否を判定します。

受講前の学習

授業はU理論に基づき展開します。興味がある方は以下の書籍を下読みしておいてください。

- ・『U理論：過去や偏見にとらわれず、本当に必要な「変化」を生み出す技術 第2版』オットー シャーマー著／英治出版(2017年刊)
- ・『U理論入門：人と組織の問題を劇的に解決する』中土井僚著／PHPエディターズ(2014年刊)



担当講師

仁平 京子 Nihei Kyoko

千葉商科大学サービス創造学部准教授。日本経営診断学会理事。日本広告学会評議員。専門分野（消費者行動論、マーケティング戦略論、広告論）

② 経営学とマーケティング

講義内容

講義では、「なぜ、非営利組織において、マーケティングや消費者行動、経営学の視点が必要なのか？」という問いから出発して、ドロッカーの非営利組織の経営やコトラーの非営利組織のマーケティングに関する基本的な考え方（発想法）について学習します。

このような非営利組織が提供するサービスの大きな特徴として、非営利組織のサービスに対する消費者のニーズ（欲求）が相対的に小さいため、提供サービスを消費者のニーズに合わせて変更しにくい点に大きな課題があり、それらの特徴が、非営利組織のマーケティング、さらに、非営利組織の経営を難しいものになっているといえます。

講義では、従来の営利企業のマーケティングと非営利組織のマーケティングの両者の特徴を比較しながら、日本社会における市民（生活者）や NPO、市民活動の中間支援組織などのさまざまな組織の抱える課題を非営利組織の提供サービスを利用する消費者のニーズ対応やコンセプト提案をキーワードに検討します。

講義計画

- 第1回 経営学とマーケティングの基礎
- 第2回 非営利組織のマーケティングと資金源開拓
- 第3回 非営利組織のマーケティング戦略とニッチ戦略
- 第4回 非営利組織の戦略の重要性
- 第5回 非営利組織の成果の定義と経済性

到達目標

マーケティングや消費者行動論、経営学の視点から、NPO や市民活動の中間支援組織などのさまざまな組織の抱える課題の発見と解決策を考察する力、マーケティングや経営学の発想力を応用することをめざします。

成績評価方法

成績評価は、授業の出席率とレポート課題の提出率を基に評価を行います。講義では、講義内のレポート提出や個人発表、グループ・ディスカッションなどの講義貢献度を加味して総合的に評価します。

受講前の学習

講義で配布する授業資料や参考文献の教科書、新聞記事、ニュースなどに目を通して、内容を事前に確認しておいてください。



担当講師

榎戸 敬介 Enokido Keisuke

千葉商科大学政策情報学部教授。地域連携推進センター長。都市計画・都市デザイン・都市観光の実務と研究に従事。アメリカ・カナダでの留学、海外都市での調査を通し、都市と人間の多様な関係について研究を行っている。

③ 非営利組織論・NPO法

講義内容

非営利組織は、公共セクター、民間セクターと共に現代の市民生活を支えるために不可欠な第3のセクターとして認知されています。本講義では、都市・地域の再生や持続可能性の観点を中心に、理論と実践の両面から非営利組織について学びます。本講義は、受講生の積極的な参加を基本とし、双方向の議論を通して新たな知見の創造をめざします。

講義計画

- 第1回 非営利組織の役割と機能
- 第2回 セクターとしての非営利組織の優位性と有意性
- 第3回 非営利組織の事例
- 第4回 非営利組織の法制度（講師：環境生活部県民生活・NPO 法人班）
- 第5回 個人プロジェクト発表

到達目標

非営利組織についての基礎的理論を修得すること、非営利組織の現状や課題を理論的に説明できるようになること、非営利組織を企画し、運営する能力を高めることをめざします。

成績評価方法

授業への貢献度や講師が指示する課題等を総合的に判断して合否を判定します。

受講前の学習

指定教材での事前学習をお願いします。



担当講師

熊野 健志 Kumano Kenji

特定非営利活動法人 いちかわライフネットワーククラブ 副理事長
市川市在住 市川市消防団 副団長
日本テレワーク学会理事 米国PMI認定PMP(1199812)
国家資格キャリアコンサルタント 東京工業大学大学院修了(技術経営修士)

④

クラウドソーシング活用演習

講義内容

日本社会はコロナ禍を経て企業組織も地域社会も大きな変貌を遂げようとしています。それは私たちのワークスタイルにも、ライフスタイルにも大きな影響をもたらします。それはどのような変化なのでしょう。この講座では新たな情報通信技術によってもたらされたクラウドソーシングの実践的活用法を学ぶことにより、未来の仕事の姿を体感していただきます。同時に、地域ビジネスを成功させるために欠かせないテレマネージャとしてのふるまいを身に付けていただきたいと思います。

講義計画

- 第1回 クラウドソーシングの概要
ネットワークを通じて仕事を発注するクラウドソーシングについて、その仕組みとこれからの社会に与える影響について紹介、およびクラウドソーシングへの登録をします。
- 第2回 クラウドソーシングの登録と発注(実習I)
実際にクラウドソーシングに登録して、発注するまでを体験します。
- 第3回 クラウドソーシングの発注(実習II)
第2回で発注した内容を確認しながら、再度、発注を体験します。
- 第4回 アポロ13号に見るテレワーク活用の要諦
1970年に発生したアポロ13号の事故を検証しながら、ネットワークを使って仕事をする意義を考察します。
- 第5回 クラウドソーシングの発注・検収(実習III)
第2回、第3回の実習を振り返りながら、検収までを体験します。

到達目標

クラウドソーシングの発注を体験し、それぞれの地域活動への応用を考えることをめざします。

成績評価方法

授業への貢献度や講師が指示する課題等を総合的に判断して可否を判定します。

連絡事項

講義の中で、クラウドソーシングで発注するにあたり、数百円～数千円程度の費用がかかります。(クレジットカードを使用)



担当講師

影山 貴大 Kageyama Takahiro

合同会社 J-doc company 代表社員。松戸市、鎌ヶ谷市、印西市等にて NPO 支援センターのコーディネーターを歴任。数々のまちづくりプロジェクトのファシリテーションやコーディネーションを行う。

⑤ ファシリテーション演習

講義内容

地域の現場や会議の場で生きるファシリテーションの技法をワークショップを通して学びます。講義の中では受講生同士による協働作業や対話を通じて学びを深めていきますので、授業への主体的な参加をお願いします。

講義計画

- 第1回 オリエンテーション・アイスブレイク
- 第2回 人に信頼される傾聴力
- 第3回 人に気づきを与える質問力
- 第4回 ファシリテーション概論
- 第5回 場づくりの企画作り・ふりかえり

到達目標

ファシリテーションの技法やマインドをワークを通じて体得し、自ら場づくりの企画を立てることができるようになることをめざします。

成績評価方法

授業への貢献度や講師が指示する課題等を総合的に判断して合否を判定します。

受講前の学習

余力があれば、事前に各自治体で実施されている対話の場（意見交換などの場）等に参加し、地域の場づくりの雰囲気を感じてみてください。



担当講師

朽木 量 Kutsuki Ryo

千葉商科大学政策情報学部部長。政策情報学部教授。専門は、歴史考古学・民俗学・地域文化政策。LEGO®SERIOUS PLAY® メソッドと教材活用トレーニング修了認定ファシリテーター。

⑥ 地域分析実習

講義内容

地域の現状について適切に分析し、事業計画立案に結びつけるための各種の分析法を学びます。例えば、「jSTAT MAP」を用いて、250m四方のメッシュごとの人口構成を踏まえて事業計画を立案したり、地域経済分析システム「RESAS」を用いて地域・イベントへの来訪者とその構成を分析したり、「地域経済循環分析自動作成ツール」を用いて地域産業の分析を行います。これらのデータをもとに、受講者各人が携わる地域活動・地域密着型ビジネスの事業計画の策定・改善を、実践的に考えていきます。（現地調査を実施します）

講義計画

- 第1回 「jSTAT MAP」を用いたエリア分析（パソコンを用いた実習）
- 第2回 「RESAS」を用いた地域分析（パソコンを用いた実習）
- 第3回 「地域経済循環分析自動作成ツール」を用いた産業の分析（パソコンを用いた実習）
- 第4回 「歴史的農業環境閲覧システム」を用いた150年前の景観復元（パソコンを用いた実習）
- 第5回 フィールドワーク（現地調査）
- 第6回 フィールドワーク（現地調査）

到達目標

地域活動・地域密着型ビジネスに役立つ地域分析の手法を、受講者各人の実際の活動に即して習得し、事業計画を策定、改善する際の視点を獲得することを目指します。

成績評価方法

授業への貢献度や講師が指示する課題等を総合的に判断して可否を判定します。

受講前の学習

経営学とマーケティングで学んだ内容を前提に講義を進めます。復習をした上で受講してください。

連絡事項

パソコンを用いた実習部分は、地理情報システム(GIS)についての専門的知識は必要としません。パソコンを使ったウェブサイト閲覧が出来る基礎的スキルがあれば充分です。フィールドワーク時の交通費は、各自負担になります。



担当講師

森 浩気 Mori Koki

千葉商科大学商経学部准教授。企業の研修やデザイン系大学院での講師も担当し、様々な組織やプロダクトをビジネス視点から捉えられる教育活動を行う。

⑦ 組織マネジメントと管理会計

講義内容

管理会計において基礎となる概念や、仕組み・仕掛けについて扱います。管理会計は経営管理の中で重要な役割を担っており、企業のみならずあらゆる組織において、管理会計の手法や考え方を活用することができます。本講義ではその中でも、特に重要かつ基盤となる手法を通じて、組織のマネジメントに関する理解を深めていきます。

講義計画

- 第1回 会計の基礎
- 第2回 予算管理と短期利益計画
- 第3回 KPIと戦略マップ
- 第4回 プロジェクト・マネジメント
- 第5回 管理会計を用いた組織マネジメント

到達目標

管理会計の基礎的な手法を理解し、それを基にした「管理会計思考」とも呼べる視点から、組織を俯瞰的に観察できるようになることです。単に知識をインプットするだけでなく、それを基に自らの属する組織について考察し、課題を発見してそれを解決するようなアウトプットを行うことに管理会計を学ぶ本質があります。このプロセスを通じて目標を達成するため、受講生には主体的な学習が求められます。

成績評価方法

授業への貢献度や講師が指示する課題等を総合的に判断して合否を判定します。

— 募集要項 —

1 募集人員

受講生・・・10名程度

- 7科目計35回すべての授業を受講する必要があります。全科目を一定以上の成績評価を得た場合、履修証明書が交付されます。
- CUC市民活動サポートプログラムは通常の学位プログラムとは異なり、本学の正規の履修科目と同様の単位や学位が授与されるものではありません。
※10名に満たない場合は開講しない場合があります。

部分履修生・・・受講生数によって調整

- 一部の科目のみを履修する場合に部分履修生となります。
- CUC市民活動サポートプログラムは学位プログラムとは異なり、本学の正規の履修科目と同様の単位や学位が授与されるものではありません。
- 受講生数が大幅に超過した場合、希望する科目を履修することができない場合があります。
- 「総合演習A・B」は履修できません。

2 申込資格

高等学校を卒業以上、または高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた方は申込できます。中学校卒業の場合等は、個別審査を行います。

3 申込書類

仮登録後、次の書類を揃えて申込期限内にオンラインフォームから申込してください。(申込方法は **5** を参照してください)

申込書類	提出上の注意
1. 申込書	所定の用紙をウェブサイトからダウンロードして使用してください。
2. 志望理由書	所定の用紙をウェブサイトからダウンロードして使用してください。
3. 卒業を証明する書類	最終学歴の証明書または卒業証書の写真データ、またはスキャンデータ *婚姻等により、上記の書類に記載された氏名が現在の氏名と異なる方は、公的身分証明の写真データ、またはスキャンデータもご用意ください。 *本学を卒業された方は、事務局で確認しますので、データ送信は不要です。卒業時の氏名(ふりがな)を申込書の学歴欄に明記してください。
4. 証明写真	顔がはっきり写っているバストアップの写真データ

※部分履修を希望される方は申込書類1、2、4のデータを送信してください。

※1、2はワードデータをご提出ください。

4 申込上の注意

- ・申込書類に不備がある場合、受け付けないことがあります。
- ・入学後、出願に際して提出した書類、記載事項に不正が認められた場合は、受講を取り消すことがあります。
- ・外国籍の方は、住民票記載の本名を用いてください。ただし、通称名も併記してある場合は、通称名を用いてもかまいません。この場合、すべての出願書類の氏名を統一してください。
- ・一度受理した申込書類は返却しません。
- ・車での通学は認められておりませんので、ご了承ください。
- ・受講にあたり、課題作成やオンライン授業に切り替わった場合等のため、PCをご用意ください。

5 申込方法・申込締切

申込方法：下記ウェブページにアクセスし、最初に「仮登録」を行ってください。その後、仮登録日から30日以内に「応募用ファイル送信フォーム」（仮登録後、送信される返信メールに記載しています）から必要書類（データ）を送信してください。

仮登録締切：2023年3月1日（水）17:00

最終締切：2023年3月31日（金）17:00

<https://www.cuc.ac.jp/event/2022/risyusyomei.html>

CUC市民活動サポートプログラム

検索



※申込書類の1と2は上記ページからダウンロードできます。

※申込方法についてご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

6 審査方法

受講生・部分履修生ともに書類審査のみ、選考料は無料。申込書類に基づき審査を行います。

7 結果通知

2023年4月下旬

審査結果は、Eメールでご連絡します。

— 受講手続 —

1 受講料

受講生	35,000円(税込)
部分履修生	10,000円／1科目(税込)
保険料(任意)	1,140円※

※損害保険に加入される場合は、保険料も併せてお振り込みください。加入手続きは事務局で行ないます。損害保険の詳細については、下記、事務局までお問い合わせください。

【注】別途、テキスト代や学外授業時の交通費等の実費が

2 受講手続き上の注意

- ・受講生、部分履修生ともに、結果通知後、結果通知に同封している書類に記載しているお振り込み締切日までに受講料をお振り込みください。振込先などの詳細につきましては、審査結果通知においてご案内します。
- ・一旦、納入された受講料は、いかなる場合も返金できませんのでご了承ください。

お問い合わせ先

千葉商科大学 社会連携推進課
「CUC市民活動サポートプログラム」事務局

〒272-8512 千葉県市川市国府台 1-3-1

TEL：047-320-8667

E-MAIL：cucr@cuc.ac.jp

※事務取扱時間 月～金 9:00～17:00（祝日を除く）

アドミッションポリシー（求める受講生像）

- コミュニティビジネスや地域密着型ビジネス等を行う企業や団体、市民活動団体や地域活動団体などで活動しており、活動内容を向上させるための「学び」に対して高い関心がある。
- 市民活動やNPO等の活動支援を行っている市民活動センターなどの中間支援組織のスタッフで専門的な知識やスキルの獲得に意欲を持っている。
- コミュニティビジネス・市民活動・地域活動等に関心があり、本学が提供するプログラムにより新たな知識・スキルを学ぶ意欲がある。

カリキュラムポリシー

CUC市民活動サポートプログラムにおいては、その特徴である「総合演習（ゼミ）」および必修科目（地域分析・ファシリテーション技術・組織マネジメント・マーケティング等）を設置する。

●総合演習（ゼミナール）

LEGO®SERIOUS PLAY®メソッドと教材を活用したファシリテーション・セッションを導入することで、受講者一人ひとりの目的意識をより洗練させることをサポートし、最終プレゼンテーションに向けての指導を実施するゼミナール。

●必修科目

必修科目の特徴は、経営・マーケティング・組織マネジメントの知識とそれらを運用する経営スキル、地理情報システム（GIS）を駆使した地域密着型ビジネスや非営利組織の課題分析力、クラウドソーシング活用能力や高度なファシリテーション能力などを修得してもらい、団体を運営するために必要な経営に関する知識や技術を身に付けてもらうことを目的に設置する。

修了要件

必修科目7科目、計35回（合計61時間25分）を受講し、各科目について一定以上の成績評価を得た場合、「履修証明書」を発行し、「千葉商科大学認定 市民活動エンハンサー」の称号を授与します。

「CUC市民活動サポートプログラム」

受講をご検討いただいている皆様へ



地域連携推進センター長
榎戸 敬介

千葉商科大学は、創立から約100年の歴史がある社会科学の総合大学です。地域との長い付き合いがあり、総合大学の知見を生かして、ビジネス、政策、環境、防災といった幅広い分野において、地域の課題解決に貢献してきました。

地域に精通していることが強みの本学で、地域社会の知と活動の拠り所となるのが、「地域連携推進センター」です。地域連携推進センターでは、地域の皆さんと一緒に課題に取り組む場づくりを行い、持続可能で創造性のある地域づくりを支援しています。

具体的には、地域活動団体の経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)をすべて提供して地域活動団体とつながってこうと考えています。そのために、地域に役立つ活動を行う方々に対して助成金や教員・学生のサポートを受けられる地域志向活動助成金制度の設置(ヒト・カネの提供)、地域の方々を対象とした各種講座・子ども向けイベント等の開催(情報の提供)、図書館やコミュニティルームなどキャンパス内の施設の無償貸し出し(モノ・場所の提供)を行っています。これらの具体的な施策を通じて、従来の大学にない新しい形での市民の方々との関係構築を進めています。

その1つであるCUC市民活動サポートプログラムは、2018年に誕生しました。一般的な教養講座とは一線を画し、最新の学術的知識、情報、理論を伝え、大学と地域が一緒に考える場として、これまでに30名を超える市民の方々に学びの場として活用いただきました。

受講した皆さんからは、「漠然と抱えていた問題意識を整理できた」「活動中に行っていたオペレーションを俯瞰して見ることができた」「自分の活動の意味を再認識できた」「他の人がどんな活動をしているのか具体的に知ることができて刺激になった」などの声をいただいています。受講をきっかけに、企画・運営の中心人物として地域イベントを開催された方、講義で学んだことを所属団体に持ち帰って運営や経営を改善できた方など、活躍の幅を広げていらっしゃるようです。

本プログラムを通じて、大学という知のコミュニティにアクセスすることで、市民活動に関する体系的な知識を得ながら、受講生や教員との繋がりができることは、皆さんの今後の活動に大変役立つのではないかと思います。問題解決だけではない、新たな価値、文化を生み出す、そんな市民活動をめざして、ともに学び、ワクワクしながら、地域づくりの第一歩を踏み出しましょう。

千葉商科大学 地域社会に貢献する取り組み

千葉商科大学では、地域社会のためにさまざまな取り組みを行っています。

1 イベント&公開講座

地域活性化のための近隣地域のお祭り、地元企業とのコラボレーション、キャンパス内で子どもたちが職業体験できる「キッズビジネスタウン®」などを学生が中心となって企画・運営しています。また、地域の教育研究拠点となり、新たな知識を得る学びの場として活用していただくため、一般の方々に向けて「災害危機管理講座」、「認知症サポーター養成講座」、「中小企業マネジメントスクール」や市川市と協同で「いちかわ市民アカデミー講座」などを開講しています。



2 学生ボランティア

本学では、地域の役に立ち、実社会の多世代、多様な方々と関わることに興味を持つ学生が、ボランティア希望学生として登録されており、ボランティア活動への参加を推奨しています。これまでに、東日本大震災被災地復興支援や、国分川鯉のぼりフェスティバル、いちかわ環境フェア、ボランティアフェスティバルなどに参加しました。



3 地域活動推進室(CUCリンクルーム)

地域住民の方も登録することで利用いただけるフリースペースです。ミーティングスペース、ノートPC、プリンタ(コピー機)、プロジェクター、スクリーン、子ども用プレイエリア等の設備があります。また、地域の方々の活動に際し、大学教員・学生のサポートを申請いただくことが可能です。



4 ソーラーシェアリング

キャンパス内にあるぶどう畑でソーラーシェアリングを行っています。ソーラーシェアリングで発電した電力を蓄電池に貯め、キャンパス内外を照らすための街灯に使用しています。また、地域の子供たちを招いて、畑でブルーベリーの苗植えや「どろんこキッズ」などのイベントを開催しています。



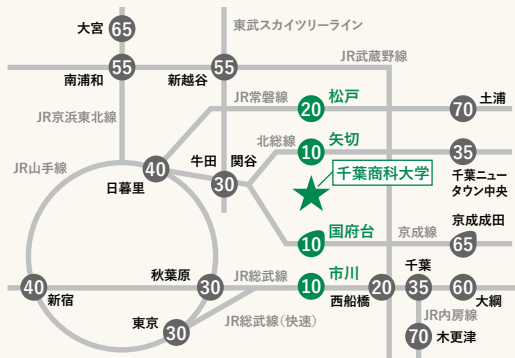
ACCESS

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。駐車場の用意はございません。

最寄り駅まで

※4路線4駅からアクセス可能

数字は本学までのおおよその所要時間



最寄り駅からのアクセス

《JR総武線 市川駅》(東京駅から快速で20分)

- 徒歩20分
- バス利用の場合/駅前京成バス1番のりば 松戸駅行または松戸営業所行に乗車10分

《京成線 国府台駅》(京成上野駅から30分)

- 徒歩10分

《北総線 矢切駅》(印西牧の原駅から27分)

- 徒歩20分
- バス利用の場合/駅前京成バスのりば 市川駅行に乗車10分

《JR常磐線 松戸駅》(柏駅から15分)

- バス利用の場合/駅前京成バス1番のりば 市川駅行に乗車20分

◎バス利用の場合、いずれも「和洋女子大前」下車 徒歩3分



Webサイト

www.cuc.ac.jp

CUC

検索

スマホ・PCからアクセス!